

# 町長発!

## “がんばる”

## トーク

町長 上川元張



第二次石破内閣がスタートしました。国内外に課題が山積する中、少数与党での多難な船出ですが、日本の未来を創り、守り抜くために、大いなるご活躍を祈念します。

総理は地方創生2・0を掲げ、新たな地方創生の取組を通じて、日本社会のあり方を大きく変えていくことを中心的な政策に据えられており、深く共感します。

総理が初代担当大臣を務められた地方創生の取組。当時の熱狂から10年経ちますが、東京一極集中の是正は進まず、地方の人口流出、特に若い女性の流出が止まりません。これまでの取組は、子育て支援や出生率向上に偏重してきた傾向が否めず、当事者である女性の「仕事をバリバリしたい」「結婚・出産に干渉されたくない」「地域社会での居場所がない」などの声と施策とのギャップが指摘されています。女性が地方で活躍できる、多様な選択肢のある地域社会づくりが求められています。また、産業振興の視点が弱かったとの指摘もあります。地域経済の振興による雇用の確保が人口減少対策に

は不可欠です。

こうした反省に立ち、地方創生2・0では、日本の経済成長の主役として地方の産業を強化し、給与水準の高い魅力的な職種を地方に増やすことにより、若者や女性が地方に残り、集まる環境を創るとしています。年内に基本的な考え方が示されますが、若者や女性に選ばれる地域社会の構築にも取り組むとされており、東京一極集中の是正や人口減少対策につながることを期待します。

地方もしっかり応えねばなりません。例えば、総理にいつも応援していただく若桜鉄道など豊富な観光資源や、日本一と太鼓判を押していたたくジビエや吉川豚、地酒や蕎麦などの美味い特産品を活かし、稼げる観光産業への転換を目指すこと。また、地域資源を活用した、特に若者の起業促進。飛躍的に進歩したデジタル技術も活用しつつ、地域の経済力を高めることが、地方創生2・0の取組の核となります。産官学金労言で連携し、多様な担い手で取組を深化していきたいと思えます。